

伝えよう・広げよう・正義と平和を

社会と教会
生活と信仰
平和・人権
分かち合い

No.34

共に生きる

編集／〒806-0049 北九州市八幡西区穴生1-8-10 /瀬下幸弘 FAX093-622-1290

はづき
月
葉 8
2013

今号より連載



秋吉久紀夫先生講演

ポルトガルの日本最初の根拠地

ザビエルなど日本への宣教活動の背景にあったカトリック教会の奴隸制容認などをめぐり、眞の宣教とは何かを考える内容です。

全9回シリーズ。 (4面)

乗り合わせて
行きましょう
北九州平和の集い
8月11日(日)

参加希望者は声をかけて下さい。11時15分頃に出発予定。
(小倉教会カレー有)

濱、深堀尚、山田弘まで
ご連絡ください。

お知らせ

- ◆8月3日(土) 下関市民平和ウォーク
下関市民会館前16時発→下関市役所17時30分
- ◆8月6日(火)~15日(木) 日本カトリック平和旬間
- ◆8月11日(日) 北九州平和の集い(小倉)…11時30分
- ◆8月12日(月) 社会福音部会(アドラック)…19時
- ◆8月18日(日) 北九州平和の集い振り返り(戸畠)…14時
- ◆8月17日(土)~21日 下関平和のための戦争展
シーモール2階サンパティオ広場 10時~
- ◆8月20日(火)~25日(日) 下関平和美術展 9時30分~
- ◆8月24日(土) キリスト者九条(西南KCC)…14時
- ◆8月25日(日) 教区信徒協(大名町)…14時

“平和への努力は時のしるし”



メイン講師／後藤正史神父 広島教区幟町教会主任司祭
お話／国是と信仰(信教の自由)

午前／北九州全教会で平和祈願ミサ
11時30分～小倉教会開場 子どもの広場 出店コーナー
13時平和の集い 各発表、後藤神父のお話、平和祈願

8月11日(日) 第13回 北九州平和の集い

参議院選挙結果を受けて、自民党の改憲の動きが見え始めています。前途暗澹たる気持ちに陥りがちですが、平和憲法が変えられようとする流れに抗うことが、ますます重要だと思います。国はつまり(国是)が教えや信念と全く相反するとき、私たちはどのような立ち場を選択しなければならないか迫られることがあります。北九州平和の集い神父のお話は、時宜にかなつたものであります。大いに期待しましょう。

(編集部)

ときのことば

へいわってなにかな。ぼくは、かんがえたよ。
おともだちとなかよし。かぞくが、げんき。えがおであそぶ。
ねこがわらう。…せんそうは、おそろしい「ドドーン、ド
カーン。」ばくだんがおちてくるこわいおと。おなかがすいて、くるしむこと。かぞくがしんでしまってなくひ
とたち。… (与那国町立久部良小1 安里有生くんの詩
6月23日 神縄戰没者を痛む慰靈の日追悼式で)

援助修道会 修道院より

8月11日：イチイチ祈りの会は行いません。小倉教会平和の集いで、地区的皆様と共にお祈り致します。

自民党の憲法改正草案は、現憲法と比べ どこが削られているかに着目してほしい！

松浦司教の“今、平和憲法が危ない”6/29講演（大名町）

■松浦司教は、主に2つの点について語りました。一つは、世界の流れからみる教会と憲法の意味について。2つめは、具体的に現憲法の何がどう変わろうとしているかについてでした。

講演冒頭で「憲法が変えられてしまうのか瀬戸際にあり、信仰者としてその意味をよく知つて選び取らなければならない時期です。」「主権者である私たちが、憲法を変えるのかが問われている。」と述べました。そして、世界の動きと教会との関わりを1962年のキューバ危機の例で話しました。「核戦争寸前の一触即発状況を打破するため、ケネディ大統領は側近に相談。この危機回避にはどこの利益にも属さず、世界から信用されている仲介者が必要で、それはヨハネス23世教皇しかいない。…教皇はフルシチヨフとケネディにメッセージを送り核戦争を止めることができた。」ことから「社会や政治の現実の出来事は、私たち教会の現実でもある。」と。

また1999年のハーグ国際平和会議で「世界各国の議会は日本国憲法第9条に倣い自国政府が戦

争することを禁止すべきである。」と決めたことや1957年の南極会議で領土論争が起きたとき、日本人が憲法前文と9条の英訳を配り争いをやめさせたことなどを語されました。

96条改憲問題については、「憲法は、国家権力者が守るべきものです。国民が権力者に対して、この憲法の枠で政治をすすめるようにとしているもの。」とすばり憲法の本質から入りました。そして自民党案の憲法前文の解説では「現憲法では『日本国民は』が主語となっているが自民党草案は『日本国は』と主語が入れ替わっている。」と述べ、草案全体が、国家(権力者)が国民にその義務を押し付けていることが大変危険な点を強調されました。

最後に草案を手にとって「どこが削られているかを読みとることが大切」と結びました。

※自民党憲法草案のコピー有ります。

申込みFAX093-622-1290 編集部。コピー代200円

五十年間、憲法は曾そつた。だが手どもたら、いまほくたちせんていを想はは、オオーリンがおとすとぞり、心をし、くすんでおえじき、第一の御は、玉置と夫は

あなたらしい
憲法のはなし

著者：玉置と夫

一緒に歩きませんか

主催／10フィート映画を上映する下関市民の会

とき 8月3日土曜日

- 出発 下関市民会館前 16時
- ゴール 下関市役所 17時30分

後援／非核平和宣言都市・下関市

【お問い合わせ先】

平和ウォーク事務局 下関市丸山町5-3-25

下関労働教育センター内

電話 090-7135-7338 担当 寺見

下関市民平和
ウォーク

あなたの声が
伝わらないことがある。
黙つていては
子どもたちのために
一緒に歩いてください。



分かち合のひととき

虹の会

6月23日 14名参加

“祈り”“宣教”“分かち合い”“学び合い”“支え合い”的大切さ

ACO発行『「働く人」—命の大切さとともに生きる』より「共に生きる共同体の一員として」（函館 楢原永都子さん）をもとに分かち合いました。

そばに寄り添い「共に生きる」あり方の大切さが分かち合われました。

また、参加された方の多くが「身近な一人一人との日常を大切に、キリストにつながれている、この共同体の一員として生きていきたい…。」という箇所に共感しました。

次回7月28日ミサ後です。
どなたでもご参加ください。

岩手県・大船渡ベースと仙台教区外国人支援センターでの8日間ボランティア体験

「繋がりつづける」

有吉 和子 (7)

(11月23日)

今日は私にとってボランティア最後の日です。感慨深いです。こちらに来て6日間、毎朝ミサに参加して1日のスタートを切ることが出来た事は私にとってすごいことです。神様に感謝です。美しく色づいた山々に囲まれた景色を目と心に刻みつけながら教会へ向かいました。すがすがしい気持ちです。

ミサが終わると、ベースに戻って急いで朝食を済ませカッパと長靴姿で車に乗り込み海岸へ向かいました。

最後の体験は漁業支援です。鮭漁の手伝いをします。泳げない私はライフジャケットを着て男性2人、女性2人の青年ボランティアの方と小型船で沖へ出ました。2,3日前仕掛けたという網を引く作業です。この辺りはリアス式海岸で、本来豊かな漁場ですが、震災以降漁獲量が減ったとの事です。また、心ない風評被害に困っていると話されていました。

仕掛けられた網の場所に到着し、気がつくとすぐ近くには津波が襲ってきた湾の入り口が見えました。恐ろしくて鳥肌がたちました。でも、漁師さんにとっては生活が懸かっています。命がけです。罵声と怒号が飛ぶ中、私は緊張しながら支持に従って必死に動こうとしました。収穫は、大きな鮭2匹、カレイ、大きな水たこなどでした。



あまり獲れずに漁師さんはがっかりした様子でした。午後からは岸で使った網の洗浄でした。網についていた汚れやごみを取りながら、日本各地からやってきたボランティアが、復興への希望をもつ



て、地域の人と一つになって共に網の洗浄作業をしていると思うと、その中の一人でいることが嬉しかったです。

夕食後、ベースのスタッフが近くの小さな温泉に連れて行ってくれました。ボランティア期間中はシャワーだったので、8日ぶりのお風呂です。心も身体もゆっくりほぐすことが出来ました。いよいよ明日はベースを去らなければなりません。二段ベッドに横になってしまってなかなか寝付けません。一週間のボランティア体験を通しての様々な思いが心をめぐりました。

(11月24日)

朝6時過ぎジュード神父様とベース出発です。まだ暗い中、二人のシスター、そして1週間活動を共にした若者が見送ってくれました。感慨深く、感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。4時間バスに揺られ、仙台市街に降りたとき、大船渡とのあまりの環境の違いに私は戸惑い、まるで浦島太郎になったような感じがしました。仙台空港からは名古屋乗り継ぎで福岡へ。福岡空港に着いたのは夜10時前でした。

この8日間を振り返って、心に残るのは毎日の出会いと貴重な体験を通しての感謝の気持ちです。現地で出会ったどの方にも希望の大切さを教えられました。

これで終わりではなく、希望を持って、これからも自分に出来ることを探して、復興に向けてつながり続けたいと思いました。

(おわり)

ポルトガルの日本最初の根拠地①

秋吉久紀夫

一、種子島の鉄砲察り

鉄砲伝來の島と言えば、蘇鉄やガジュマルの樹の茂る薩摩の島「種子島だ」と、すぐに言葉が返つて来る。その種子島では毎年八月二十五日になると、「鉄砲祭り」が島の中心街西之表市の若狭公園で開催されている。

鉄砲の伝来した海岸は厳密に言えば、現在の西之表市街地より南に当たる城之浜の門倉岬である。この海岸に紅毛人のポルトガル人三名を乗せた中国人の船が、天文十二年(1543)八月二十五日に漂着したのだつた。

この事件を記した書類は『南浦文集』と言い、薩摩大竜寺の和尚、文之玄昌(号南浦)の『鉄砲記』といふ寛永二年(1625)刊の古活字本で、鉄砲の伝來した種子島の後の領主久時の依頼により記した

もので日本に残る唯一の記録だと言われている。伝來した当時の種子島の領主は種子島時堯ときただであつた。彼は漂着した紅毛人が、眼の前でパツパツと音を立てて遙かな樹木に止まつてゐる鳥を、奇妙な武器で射ち落として、食膳に供したのを聞き驚き早速、豊後白杵の大名大友宗鱗(義鎮)に伝言。宗鱗はただちにその奇妙な武器の獲得に野望を膨らませ使者を遣わし、その紅毛人を所領の白杵に招待した。この船の種子島漂着によつて以後ヨーロッパ(ポルトガル)と日本の貿易が開始されたことは疑いない。ヨーロッパ人が極東の島国日本に注目はじめたのは、マ

ルコ・ボーロが日本を「セルゾネース・トル」(金城の半島)と呼ぶように紹介していたからである。日本は東アジア大陸を隔たること五百浬^{マイル}の一大島国であつて、その住民は皆偶像を神と信じ、かつ他の諸国と交通することが稀であるから、国に産する金銀は海外に流出することなく、かつまた金鉱が非常に多いから宮殿は莊厳な結構を有し、輪奐の美は言語に絶する。たとえば金銀をもつて彼は漂着した紅毛人が、眼の前で屋根をふき、床板の代わりに金銀の延板を用いている。襖やその他

の装飾は、それぞれ目を驚かすばかりで、それを詳しく書いても、誰も信ずる者はあるまい。蒙古王

クビライは、早くから日本に眼をむけ、日本を掠奪すべく大兵を向けたが、ついに失敗に終わった。「この船の種子島漂着によつて以後ヨーロッパ(ポルトガル)と日本の貿易が開始されていたことは疑いない。ヨーロッパ人が極東の島國日本に注目はじめたのは、マ

ルコ・ボーロが日本を「セルゾネース・トル」(金城の半島)と呼ぶように紹介していたからである。日本は東アジア大陸を隔たること五百浬^{マイル}の一大島国であつて、その住民は皆偶像を神と信じ、かつ他の諸国と交通することが稀であるから、国に産する金銀は海外に流出することなく、かつまた金鉱が非常に多いから宮殿は莊厳な結構を有し、輪奐の美は言語に絶する。たとえば金銀をもつて

う著書がある。これは彼の波乱に満ちた生涯の中で見聞した事柄を記したもので、死後約三十年経つた一六一四年にリスボンで刊行されるや、スペイン語、英語、フランス語などに翻訳され、西欧諸国で版を重ねた著名な書物であつた。

それには種子島に漂着し鉄砲を伝えたのは、三名のポルトガル人で、そのひとりが自分であると、はつきりと記している。

二、カトリック教会と奴隸貿易

先に種子島に漂着したポルトガル人ピントは、冒険家で貿易商人であつたと述べたが、當時、彼が巨万の富を手にする奴隸貿易に関与していなかつたとは否定できない。なぜなら歴史上、カトリック教会と奴隸貿易とは、密接な関係があつたからである。西山俊彦氏は、その著『カトリック教会と奴隸貿易』の中で、次のように子細に、この事について語つてゐる。

(続く)

教区信徒協研修会

森山信三神父が語ります。

とき／9月23日(月) 10時20分～
ところ／カトリック大名町教会

詳しいスケジュールはポスター等でお知らせします。(または9月号)

福岡教区信徒協は“社会の中の教会”を目指し、一人ひとりが知り、考え、どう行動していくのか、その使命(使徒職)について語り合っています。どなたでも参加できます。一緒に分かち合いませんか。

北九州信徒協親睦レク

4年連続の雨天中止。今年は楽しい交流を企画中です。

とき／10月14日(月)
ところ／新田原グランド予定

詳しくは後日お知らせします。

ピース21・下関実行委員会

8月17日～21日 下関平和のための戦争展
AM9:30～PM4:30 シーモール2階サンバティオ広場

8月20日～25日 下関平和美術展 AM9:30～PM4:30

9月1日 下関平和コンサート下関市民会館 PM2:00

だまつておわなくなつて

憲法を返るな

日本国憲法は自分たちの力で勝ち取ったものではありません 敗戦によつてもたらされたものです

しかしアジアの人たち、世界の人たちは「戦争放棄」「武力不行使」の日本国憲法を賞賛し信頼を寄せています

すばらしい輝ける星 日本国憲法それをことさら変える必要があるのでなぜですか

やつぱりあなたたちは憲法第九条を変えて「アメリカと一緒に戦争ができるようになしたい」んですね

それが「強い日本」ですか
散々アジアの人たちの命を奪つた日本そんなことがアジアの人たちに通用するはずないでしょ



日本漫画家協会
日本漫画家会議



にし やま すずむ
西山 遼 さんの諷詩

ツイッター

本物の田舎こんにゃく(みな)

近くにあり行ってみたいのに行ったことがない…それは「ふるさと正助村」でした。宗像市の日赤看護大学そばにあります。地元の特産品を味わいたいと店内へ。木造建てがよく似合います。懐かしいものも多々ありました。あれこれ見ていると、お客様の小学生が“ワアッ！”と叫びました。15cm程のムカデが店内に侵入。主人が一瞬のうちに踏みつぶしました。(かわいそう)。でも、でも、でも、なぜか田舎こんにゃくはおいしそうでしたから買っちゃいました。早速夕飯のおかずに。主人は「うまい。うまい。これ昔の味やし弾力がある。」とビールを飲みながらペロリと平らげてしまいました。本物見つけ。

見事な司会進行(O)

信徒協親睦レク会議で「今年はレクをしないと聞いた」というような意見が出たそうです。えっ？実行委員会に来ているのに何故。取り止めの意見も出たそうですが、司会者が「それでは今年のレクをするということで…」見事な進行だったそうです。

468円の発泡酒あり (こう)

「600円～620円が相場でしょう。本当に？」百聞は一見にしかず。6本で468円。しかも冷やしてあるからすぐ飲めました。JR陣原駅隣のコスモスです。

「自民党案を支持する！」… (瀬下)

6月29日、松浦司教の「今、憲法が危ない」講演会時、受付にいました。ある方が「自民党案を支持する。」と息巻いて言されました。「そうですね。どのように捉えるかは自由ですから。」と私。それでもぶつぶつ何やら言われるので「この憲法改正草案は自民党が作成したものですよ。私はそれを紹介しているので、自民党の宣伝をしているのと同じでしょ。あなたも持っていないのなら買ってください。」しぶしぶ？彼は買ってくれました。

日本国憲法改正草案
（一般社団法人日本国憲法改正草案）

沖縄愛樂園と佐喜眞美術館の見学

中光(沖縄在住・20代)



沖縄県民でもハンセン病国立療養所「沖縄愛樂園」を知らない人は多いと思います。その愛樂園のある屋我地島の向かい側には白浜ビーチが広がる古宇利島があり、また沖縄美ら海水族館も近くにありますから、愛樂園に足を運ぶ人はほとんどいません。でも私は知りたかったです。沖縄におけるハンセン病問題の歴史と今を。

患者自身が作った療養所といわれている愛樂園には、現在220人ほどが生活しておられ平均年齢は80才を超えていました。福祉課で手続きを済ませ外に出ると、目の前が自治会事務所でした。療養所職員の定数削減に反対する横断幕などが貼られ、入所者の方々の切実な要求が感じられました。その向かいはカトリックザベリオ教会。中に入ると那覇教区報「南の光明」7月号がありました。一ページ目は、沖縄慰靈の日(6月23日)にあわせ「パーセン・イン・テリス地上に平和を」が大見出しで書かれていました。次ページの押川司教メッセージも力強いものでした。「平和を生み出す活動に心から協力し、努力を惜しまないでください。少し海岸沿いを歩くと「ハブがおつた注意しろ」の看板と、その先に青木恵哉頌徳碑がありました。青木自身ハンセン病者でしたが、内地よりもっとひどい差別と偏見で苦しむ病者のために、療養所設置を願いキリスト者として働いた人でした。病者たちの住むところを焼き討ちされたりして各地を追われ、やつと現在の地を確保しましたが、それでも迫害を受けるなど産みの苦しみを味わつ



愛樂園側から見える全長2kmの古宇利島大橋。そこは観光客でいっぱいでした。



編 集 後 記

気掛かりなことがあります。「侵略の定義は定まっていない」と発言した安倍首相。日中関係がうまくいかない原因です。しかしこのような定義をもってしても、満州事変以後の日本の戦争は侵略です。事實をそうでないよう言うのは詭弁です。戦後平和憲法のもとでスタートしたはずが、冷戦によるアメリカの日本に対する政策変更で再軍備の道へ。やがて膨大となつた自衛隊を国防軍にと。過去の過ちをしっかり押さえないと同じ轍を踏む危険があります。国防軍は国民を守るものではありません。国家体制を守るのです。自衛隊内の情報保全隊は国民の動向を監視しています。そういうえば自民党憲法草案は権力者を縛るのでなく国民を縛るものに。(瀬下)

たそうです。自分達で壕や井戸を掘った跡も残っています。青木恵哉頌徳碑の横に「声なき子供たちの碑」もあります。強制墮胎によって闇から闇へと葬られた子供たちのための慰靈碑です。今回見学しなかつたのですが、園内には被弾跡なども残っています。このように沖縄愛樂園は、まず患者たちで立ち上げ、後に県立として開園。戦争中、栄養失調やマラリアなどで900人ほどのうち288人が死亡。戦後は沖縄中央政府所管から沖縄群島政府所管、琉球政府所管、そして本土復帰に伴い日本政府所管となり現在に至ります。沖縄独特の歴史ですが、ハンセン病問題の共通点は「ハンセン病国賠訴訟」の勝利が「人間として扱われていなかつた」人々へ、生きる希望を与えたことです。元患者さんたちのたたかい続けた力を見せていただけたことは嬉しかつたです。訪問しなくては感じられないものばかりでした。

愛樂園を出て、今度は太平洋側の辺野古を通過しました。有刺鉄線を横目にこの海側が問題の地だと感じながら宜野湾市普天間基地の真横にある佐喜眞美術館へ急ぎました。続く。